

学校だより



はまなか

7月号 令和6年6月28日 芦屋市立浜風小学校長 俵原 正仁



HPのQRコード

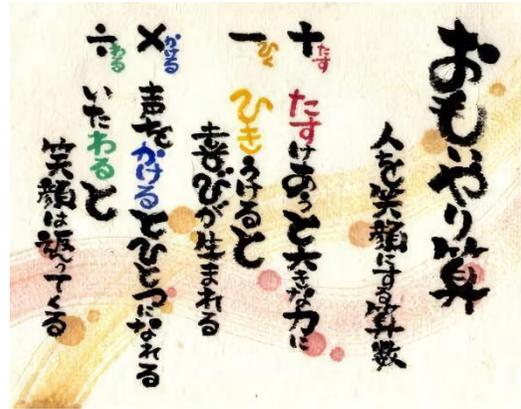
人を笑顔にする算数

ある日のことです。いつものように教室をまわっていると、1年生が「ふえたりへったり」の勉強をしていました。何気なくその様子を見ながら、今から10年ほど前の「思いやり算」というCMをふと思い出しました。次のような内容です。

たす(+)...“たすけあうこと”によって、大きな力が発揮されます。
 ひく(-)...“ひきうけること”によって、仲間との喜びがわきます。
 かける(×)...“声をかけること”によって、心が一つになります。
 わる(÷)...“いたわること”によって、心が和みます。 (ACジャパン)

文字通り、「たす(+)」は、「たすけあうこと」です。一人よりも二人、二人よりも三人と、助け合い、力を合わせることによって、大きな力が発揮されます。「ひく(-)」は、困っている人のちょっとした仕事を「ひきうけること」です。引き受けてもらった相手は感謝し、喜びます。相手の喜びが感じられれば、引き受けた人もうれしくなります。仲間とのきずなが深まり、喜びがわくということです。「かける(×)」は、「声をかけること」です。優しい言葉をかけることによってお互いの心が一つになれます。元気いっぱいのおいさつもこの声かけの一つとすることができます。「わる(÷)」は、「いたわること」です。相手のことを思い、いたわりの気持ちを持つことで、相手の心が和みます。同時に笑顔もほころびます。CMは最後に、「それは、人を笑顔にする算数。思いやり算。ほら、やさしいでしょ。」という言葉で終わります。

何と言っても「人を笑顔にする算数」というパワーワードが素晴らしいです。「はましよう☆SMILES」浜風小学校の一員としては、この「思いやり算」の心で、相手の立場に立ち、考えて行動できる子どもたちを育てていきたいと思えます。足し算、引き算、かけ算、割り算が混ざった四則計算では、かけ算と割り算を先に計算することがルールですが、「思いやり算」にそのようなルールはありません。どこから始めてもかまいません。まず、自分のできるところから行ってほしいなあと思っています。どこから始めても、間違いになりません。「人を笑顔にする」という花丸にたどり着きます。



<7月の予定>



- 1日(月) 全校朝会
14:45下校
- 2日(火) 浜ナイス 5年脊柱モアレ検査
- 4日(木) ペア活動 6年租税教室
- 5日(金) 5校時まで(個人懇談準備のため)
- 8日(月) 4年生自転車教室
- 8日(月)~11日(木) 個人懇談会
4校時まで
- 11日(木) 2・3年生 ALSOK あんしん教室
- 12日(金) 5校時まで(会議のため)

※ 状況により予定が変更することもあります。ご了承ください。

- 15日(月) 海の日(祝日)
- 16日(火) 浜ナイス 5校時まで
スクールカウンセラー相談日
- 17日(水) 給食終了 6年修学旅行説明会
- 18日(木) 12:35下校
- 19日(金) 1学期終業式
一斉下校 11:30
前年度卒業生 卒業アルバム等配布日
- 20日(土)~ 夏季休業日
~8月27日(火)

<今後の予定>

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 8月28日(水) 2学期始業式 | 9月6日(金) 参観懇談(高) 4年海の学校説明会 |
| 30日(金) 緊急時下校訓練② | 9月11日(水)~12日(木) 6年修学旅行 |
| 9月2日(月) 給食開始 委員会 | 9月30日(月)~10月4日(金) 5年自然学校 |
| 9月5日(木) 参観懇談(低) | |

<遅刻や欠席の連絡について>

何度かお知らせしておりますが、遅刻や欠席の際は、hmkjs-kr@edu-ashiya.ed.jp (学校代表アドレスの@の前に「-kr」が付いています。)に8:30までにメールをお願いします。(件名欄に記載願います。本文は空欄でお願いします。本文は閲覧しません。)
 児童の安全確認のためにも、ご連絡を何卒よろしくお願い申し上げます。



浜風小学校遅刻・欠席連絡 QR コード

<緑の募金やユニセフ募金へのご協力ありがとうございました>

今回、緑の募金で皆様より3,897円のご協力をいただきました。この募金によって集められたお金は、私たちの町や公園の緑化や整備等に使われます。またユニセフ協会への募金も、今回943円をいただき、送金いたしました。世界の恵まれない子どもたちへの助けになればと思います。ご協力をありがとうございました。

<水分補給をお願いします>

暑い日が続くようになってきました。子どもたちに、毎日水筒を持たせていただき、適宜水分補給ができるようによろしく願いいたします。

